

# 東日本大震災の記録



## 地震と津波の状況（気象庁発表）

発生日時	平成23(2011)年3月11日金午後2時46分ごろ
震源地	三陸沖北緯38度6.2分、東経142度51.6分、牡鹿半島の東南東約130km付近
震源の深さ	約24km
震源の規模	マグニチュード9.0
震度	震度5強/茂市、震度5弱/五月町、鉾ヶ崎、長沢、田老、川井、門馬田代
警報などの発表	平成23(2011)年3月11日金午後2時49分 岩手県に大津波の津波警報 平成23(2011)年3月12日出午後8時20分 津波の津波警報に切り替え 平成23(2011)年3月13日(日)午前7時30分 津波の津波注意報に切り替え 平成23(2011)年3月13日(日)午後5時58分 津波の津波注意報解除
第1波到達時間/高さ	平成23(2011)年3月11日金午後2時48分/0.2m
最大波到達時間/高さ	平成23(2011)年3月11日金午後3時26分/8.5m以上 ※後日現地で回収した津波観測点の記録分析の結果
(参考)津波遡上高	37.9m/田老小堀内地区 ※東大地震研究所発表 40.5m/重茂姉吉地区 ※学術合同調査グループ発表

## 避難などの状況

市災害対策本部の設置	平成23(2011)年3月11日金午後2時46分 ※平成24(2012)年8月31日金廃止
水ひ門の閉鎖	警報発表時閉鎖水ひ門111カ所(宮古地域93カ所、田老地域18カ所)
避難指示発令	平成23(2011)年3月11日金午後2時49分
避難指示解除	平成23(2011)年3月13日(日)午後5時58分
避難指示対象	5277世帯・1万2842人
避難所箇所数・避難者数	85カ所・8889人(最大時)

平成23(2011)年3月11日午後3時23分。真っ黒に染まった波はみるみるうちに水位を上げ、ごう音とともに市街地へと流れ込んだ（宮古市役所から撮影）



## 被害の状況

### 人的被害

死者517人（死亡届出者407人、死亡認定者110人）、行方不明者94人  
※死亡認定者と行方不明者は重複している。死亡認定者と行方不明者の差（16人）は、死亡認定の届出後に遺体またはDNA鑑定で行方不明者本人と特定された数である

### 住家等被害

全壊5968棟、大規模半壊1335棟、半壊1174棟、一部損壊611棟、合計9088棟

### 被害推計総額

2456億6088万4000円 【主な内訳】住宅＝1496億511万円、商工労働関係施設＝281億700万円、水産関係＝215億642万6000円、観光施設＝136億50万4000円、漁港施設＝150億3308万7000円



被災直後の田老地区  
(平成23(2011)年3月撮影)

復興の進む田老地区  
(平成27(2015)年11月撮影)



あの日の証言

## 田老防潮堤を越える巨大な津波を目撃

畠山昌彦さん（田老）

防潮堤そばにある田老漁協の2階事務所で地震に遭った。女性職員らをすぐに高台に避難させ、事務所に上司と2人残った。津波警報は3mのアナウンス。この防潮堤なら大丈夫と思えば、沖の消波ブロックを波が越えたのを見て、「大変だ」と引き返し事務所3階に上がった。津波はすぐ目の前の防潮堤を越えて事務所に襲いかかってきた。3階に上がり夢中でカメラのシャッターを押し、迫りくる津波の姿を記録した。まるで映画でも見ているようで、恐かったが本当のことに思えなかった。自分の自宅は流されたが家族は全員無事だった。





◀ 被災直後の鯨ヶ崎地区  
(平成23(2011)年3月撮影)

▶ 復興の進む鯨ヶ崎地区  
(平成27(2015)年11月撮影)



あの日の証言

## 銭湯も壊滅的に被害を受けた

巖岩政子さん（鯨ヶ崎）

営業している銭湯で地震に遭った。浴槽に一人が入っていて、一人が玄関に入ろうとしていた時だった。ものすごく強い揺れで津波が来ると直感した。お客さんをすぐに避難させ、風呂釜の火を落した。そのあと犬を抱えて近所の人に「避難して」と声をかけて裏山の高台に上がった。振り返ると波はまちの中まで入り込み、すぐそこまで迫っていた。港町交番の方向からい

くつものドラム缶や小型のタンカー船までも流れ込んできた。銭湯に直撃するかと思ったが、その手前で船は止まった。しかし、銭湯は天井が落ちて、隣の自宅も2階まで水没してしまった。残念なことに近所の人々が犠牲になった。あれは何だったのか夢のような出来事だった。